



2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2358回 2019年12月13日(金) No. 2240

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:IM・50周年準備委員会

点 鐘 12:30

卓 話 者:箕輪 良孝IM・50周年準備委員長

ロータリーソング「日も風も星も」

演 題:「クラブフォーラム」

前回 第2357回 2019年12月6日(金) 記 録

- 出席者：会員 25 名中 18 名出席 出席率 72.00%
- ゲスト：2019 年度米山記念奨学生
オトゴンバートル・ドルジンスレンさん
森井 敏和様
センパンシリー・シラサイ様

会長あいさつ 加藤 清久



本日は、来期執行部を選出する年次総会です。はやいもので、私の年度も半年過ぎましたが、大きなトラブルもなくクラブ運営ができましたことは皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

さて、あさっては、日本が戦争を始めた日です。戦後、74年たって、なぜ、「戦争を始めたのか」、「この戦争にどんな意味があったのか」、「戦争の始めかたに問題はなかったのか」等、そして、これが戦後の日本にどう影響しているかについて私なりに検証してみたいと考えています。

私のような若輩者が、この戦争の意味について語ることは僭越かもしれませんが、2度の爆撃を受けた当事者として、後生の人に語っておく責任があると考え、来週、お時間をいただいておりますのでよろしくお願い致します。

幹事報告

- ・11/24(日)第9期 2760 地区 RLI 会長エレクト研修
パートII 於星城大学 名古屋丸の内キャンパス
舟橋会長エレクト 出席
- ・11/28(木)2020 学年度米山奨学生第1次選考会
於ガバナー事務所会議室 山田地区委員長 出席
- ・11/28(木)江南 RC IM PR 訪問 於江南商工会館
桜井 IM 実行委員 出席
- 【 回覧資料 】
- ・令和3年4月以降の尾張旭市子ども会連絡協議会
について
- ・松島町立松島第二幼稚園からの御礼状
- 本日の会合：第9回理事役員会 於尾張旭市商工会館内 第1会議室 13:40～

おめでとう



- 12月10日
山田 直樹さん
妻 昌子様
- 12月25日
桜井 雅博さん
妻 郁子様
- 12月26日
谷口 亜弥さん
夫 央様

疾病予防と治療月間

	12月21日(土)	12月27日(金)	1月3日(金)	1月10日(金)
例 会 予 定	年忘れ家族会 (12/20 振替) 於：名古屋国際ホテル 受付：17:30 点鐘：18:00	休会 (定款による)	休会 (定款による)	卓話担当者:青少年奉仕委員会 卓話者:交通教育 NPO OSCN じてんしゃスクール代表 片山 昇様 尾張旭市役所 市民活動課 主査 熊崎 優様 演題:「交通安全教育の重要性と 尾張旭市での交通教育事業」



12月2日 中森 正裕さん
12月5日 舟橋 龍秀さん

ニコボックス

○森井敏和さん、センパンシリー・シラサイさん、よくおいでいただきました。ゆっくりしていただいて下さい。

加藤 清久さん、桜井 雅博さん、菊田 利昭さん
○結婚記念日を祝っていただき。中森 正裕さん
○先月結婚記念日を祝って頂き。田中 祐子さん
○妻の誕生日を祝っていただき。

桜井 雅博さん、山田 直樹さん
○夫の誕生日を祝っていただき。谷口 亜弥さん
○急に寒くなりました。皆様インフルエンザに気を付けましょう。加藤 清久さん
○忘年会シーズンです。飲み過ぎに注意してガバンリしましょう。熊澤 功さん
○本日、うちの関係で国際奉仕の卓話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

森井 晴生さん
○早退します。岡本 和士さん、森 康美さん

第9回理事役員会

日時：2019年12月6日(金) 13:40～

場所：尾張旭市商工会館内 第1会議室

- 議題：1) 会長からの報告(加藤会長)
- ・中部経済新聞協賛については見送りに。
 - ・令和2年新年賀詞交歓会に会長出席。
 - ・2020-21年度地区組織について説明された。
 - ・2020-21年度地区委員会への出向について、山田さんが出向することで承認された。
- 2) 11月度会計報告(西尾会計委員長)
- ・承認された。
- 3) 尾張旭市商工会優良従業員表彰支出報(古橋裕志職業奉仕委員長)
- ・承認された。
- 4) 年忘れ家族会企画について(金森親睦活動委員長)
- ・原案通りで了承された。
- 5) 第43回なわとび大会協賛について(菊田青少年奉仕委員長)
- ・例年通り協賛することで了承された。
- 6) 補助金事業について(菊田青少年奉仕委員長)
- ・引き続き検討していく。
- 7) IMの進捗状況について(箕輪IM実行委員長)
- ・進捗状況の報告がなされた。
- 8) その他の件
- ・事務局年末年始休暇について
- 2019/12/28(土)～2020/1/5(日)で承認された。

卓話

「ラオスの現況と海外実習制度について」

森井 晴生



私共天理教名古屋大教会は約50年前よりラオス伝道を行い、2006年からは布教所内で日本語学校を運営していますが、ラオス労働省外郭組織の依頼で2014年から技能実習生の

日本語講習を行っております。ラオスの発展と若者の将来に寄与するためです。しかし、外国人技能実習生制度は多くの問題をはらんでおり、ブラックな企業や監理団体から実習生を守るための「実習生駆け込み寺」的存在に私共の教会がならなければと、2015年に一般財団法人WORLDS LINKを設立しました。

今日は実務担当の弟敏和より財団の活動を紹介し、その後、ラオス人職員センパンシリー・シラサイ君に実習生との関わりや祖国について紹介してもらいます。



森井 敏和

当財団の主事業は入国後講習です。実習生が入国後会社配属までの1ヶ月間、名古屋大教会内施設に合宿して、日本語と日本の生活習慣やルールを学びます。2015年より現在まで6ヶ国から約1,000人が受講しました。更に、本年4月新設された在留資格「特定技能」人材を支援するため、入管庁より登録支援機関の認可を得ました。

その他ハウス食品の食文化振興財団より委託を受け、援助予算でラオスの学校にて野菜栽培や養鶏、魚の養殖等を行い、自給自足で子供達に給食を提供しようとしております。



センパンシリー・シラサイ

妻が天理教の信者で、私もその教えは素晴らしいと思い信仰しました。布教所内の日本語学校に勤務し、生徒に日本語を教えました。2015年、WORLDS LINKの通訳として、妻と小学1年の息子3人家族で日本に呼んでもらいました。その後女の子が2人生まれました。上の女の子は生まれつき耳が悪かったのですが、大教会の皆さんにたすけてもらい、今は歌を歌ったりできるようになりました。

私はラオス人実習生の通訳と入国後講習の日本語講師をしています。違う国の人達がおぼえたての日本語で話し合い、協力して一緒に生活するのは、天理教の「世界一列皆兄弟」の教えそのままだと思います。ラオスがよくなるためには、一番大切なのは子供達の教育です。学校を建てることも大事ですが、レベルの高い先生を育てる援助をして頂ければとてもありがたいです。また、1人でも多くの実習生を日本の企業に入れて頂くことも、ぜひお願いしたいです。日本は本当に素晴らしい国です。礼儀正しいし思いやりがあります。ラオスにとって、日本はいつもそばにいてくれる優しい「お兄さん」です。私は、日本とラオスがもっと仲よくなれるように、これからも頑張りたいと思います。

今日は、こんな素晴らしい場所でスピーチさせて頂き、本当にありがとうございました。